

子どもが生き生きと学ぶ放送学習 中間報告会

小学校 6年社会

世界で日本が果たすべき役割とは何か

番組名 「歴史にドキリ」

放送回 第41回 「戦争そして戦後」

歴史や公民の学習内容について、映像と歌で楽しく学ぶことができます。小学校だけでなく中学の歴史的事象のクリップも充実しています。

実践者 横浜市立東汲沢小学校 教諭 吉田 圭一

番組の使い方

第41回「戦争そして戦後」
明治時代以降、近代化し急速に力をつけていった日本。やがて国の利益をめぐる、外国との戦争を経験する。戦争そして戦後の復興と平和を見つめる。

活用のねらい

番組を視聴することで、人々の発展の陰に、過去の過ちや失敗があったことを気付かせ、自分たちも歴史を作る一人であることが視覚的にとらえることができる。

具体的な手立て

- 単元の最終一つ前で扱う
- 本時導入：まるごと視聴（10分間）
「すごい！昔の日本と思うこと」
「反省しなくてはいけないこと」の2点を思考ツールを使って話し合う。ペアorグループ
- 主発問：「歴史を踏まえて私たちはどのようなことをしていけばよいのだろう」番組の投げかけを自分ごととして受け止め、話題を選び、イメージをもって自分の考えをまとめる。

番組の位置づけ

学びを振り返るきっかけ

自分ごととして考える視点をもたせるもの

授業の概要(11/12)

本時の目標

これまでに学習したことを振り返り、過去の出来事を現在や将来の日本の発展に生かすことを考えようとする。

番組視聴（10分）

- 明治以降の激動の時代について国民が戦争に巻きこまれた課題をつかむ。
- 廃墟となった都市から経済発展を遂げた日本人の努力や工夫に気づく。

昔の日本のことで反省しなくてはならないことは何か。逆に、これはすごいと思えることは何かを考えさせる。

- 理由を考えながら話し合う

今日本が抱える問題は何だろうかを考えさせる。

- 経済、人権、政治、国際、環境などあらゆる面から出し合う。

「歴史を踏まえて、私たちはどのようなことをしていけばよいのだろう」文にまとめ、全体で交流する。

生き生きと学ぶ子どもの姿

【歴史を学ぶ価値や意欲の高まり】

「伝統文化を大切に、受け継ぎ後世に伝えていくことはとても大事だ。」「認め合い、理解することは、今も昔もこれからも大切だと思う。」「今は歴史が好きになって、自分から歴史の本をかうようになった。」

【協働学習】

思考が見える化することで、対話が生まれそれぞれの考えを広げたり深めたりすることができた。（思考ツールの活用）



【自分ごととして考える力】「お互いを認め合い、これからの日本を担う人たちに受け継ぐことはできると思う。」



指導を終えて



歴史全体を振り返る際、戦争と復興の後に扱うため、平和に収斂しがちだったが、番組視聴により、いろいろなテーマを扱ったことを振り返ることができた。（ドキリソング）

振り返りシートから、歴史への感心・意欲はもちろん、知識の構築に役立ったとする値が高かった。